



## 2024春闘 要求を実現しよう!

社員一律1万2千円の  
ベースアップを実現を!



東日本ユニオンに結集しよう!

# 指令が列車を止められる無線整備を求める

## 申13号・只見線における無線設備の改善を求める申し入れ 団体交渉

新潟地本は1月23日、申13号・只見線における無線設備の改善を求める申し入れの団体交渉を行いました。

只見線の只見駅〜小出駅間は一部の区間を除き、ほとんどの場所で無線が傍受できない状態です。

また業務用携帯電話や、車両搭載の衛星電話も繋がりにくく、沿線に設置された通信回線の端子に受話器を差し込み通話するTBボックスが唯一の通信手段となっています。

昨年11月、走行中の列車が雨規制を受信できず、六十里越トンネルに入るまで所定速度で運転する事象が発生しました。

乗務員から指令に速やかな連絡ができないだけでなく、緊急時に指令が列車を止める手段を持たず、只見線が極めて危険な輸送環境の中で運行されていることが改めて明らかになったことから、早急な対策を求めて申し入れを行っていたものです。

団体交渉で支社側は、当該区間は無線が繋がりにくい区間であることは認識しているとしました。

当日の対応を質すと支社側は、輸送指令から無線機、業務用携帯電話、衛星電話を使用して列車を止めようとしたが、4分以内乗務員に連絡が出来なかつたとしました。

速度規制区間を4分以内走り続けたことに対する認識を質すと、あらゆる手段を用いて最終的に列車を止めたので、速度超過ではなく問題は無いとの考えを示しました。

組合側は、運転規制区間を4分間走り続けた事は事実であり、お客さま・乗務員の安全を担保するために課題があることを訴えました。

支社側は、最低限必要な設備は整えており、点検も実施しているため、規程・省令上違反はしていないとの認識を示しました。

無線機がつながりにくい区間であり、全区間で使える状態が理想であること強く求めました。

# 列車と衝突のおそれも 発生の原因と再発防止を求める

## 申16号・米山駅構内で発生した大型建造物が本線を支障した事象に関する申し入れ

2023年12月7日、信越本線米山駅構内において撤去工事中だった跨線橋の部材が落下し、下り本線を支障する事象が発生しました。

幸いにも列車の進来はありませんでした。乗務員やお客さまの死傷事故に繋がりがかねない重大な事象でした。

新潟地本は1月19日、今回発生した事象の原因と対策を明らかにすることを求め、申16号・米山駅構内で発生した大型建造物が本線を支障した事象に関する申し入れを提出しました。

申16号 申し入れ項目  
1. 本事象が発生した原因を明らかにすると共に、同種工事における再発防止策を明らかにすること。

## 飯山線踏切事故 献花・慰霊 働く者の視点から 安全議論を創り出そう

地本執行部は1月23日に飯山線の大根原踏切を訪れて、2011年2月1日に発生した踏切事故の慰霊・献花を行いました。

実際に現場に立つことで当時の状況を感ぜながら、二度と命に関わる事故を起こさないという決意をこめて献花をし、黙祷を捧げました。



今後安全を最重要課題と位置づけ、職場から労働組合の枠にとどまらず組んでいきます。

## 申17号を新潟支社に申し入れ

# 戻入の手続きに伴う不利益発生 再発防止対策を求めて申し入れ

会社から定期券の購入代金として支給されたものの、その後の異動に伴い不要となった通勤手当の精算・戻入が行われた際に、給与控除が成立しなくなったことで、控除不能額に応じた立替払いの取り扱いが発生しました。

その際に社員持株会の算方法に選択肢を持たせ

とにより、しばらくの間扱出が停止状態となる不利益が生じました。また労組控除も行えなかったことから、組合員としての不利益も発生しました。

今後再び今回のような事象が発生させないため、新潟地本は1月19日、申17号・通勤手当の精算による不利益の解消を求める申し入れを提出しました。

申17号 申し入れ項目  
1. 通勤手当の精算による控除不能が発生しない仕組みを構築する